

## がん専門医育成推進講座

## 1. 領域構成教職員・在職期間

|      |       |            |
|------|-------|------------|
| 教授   | 谷澤 昭彦 | 平成27年4月1日～ |
| 客員教授 | 玉村 裕保 | 平成28年4月1日～ |

## 2. 研究概要

## 研究概要

- がん薬物療法、放射線治療、病理診断の分野でがん専門医資格取得支を支援し、福井県のがん診療に貢献できるシステムの構築する。
- 小児慢性骨髄性白血病の標準治療を確立する。

## キーワード

がん診療、研修医、専門医資格、地域医療

## 業績年の進捗状況

昨年度に引き続き、関連学会が主催する学生・研修医向けセミナー参加支援、陽子線がん治療センター見学会、北陸・福井県等地域規模の研究会への学生への参加呼びかけなどを行い、医学科5年生・6年生の学会主催セミナーへの参加、陽子線がん治療センターへの参加者が得られた。造血細胞移植webカンファレンスを継続的に24回開催し、移植症例の診療について討議を行い、初期研修医から中堅医師を含めて知識共有の場を提供できている。2016年度は学内外から11名の医師が本講座の専門医育成プログラムに参加しており、卒業後10年目医師が放射線治療専門医資格を取得した。臨床研究においては日本小児がん研究グループ 血液腫瘍分科会CML委員会メンバーとして、小児慢性骨髄性白血病の後方視的長期予後調査の研究代表者として立案・準備した。また第2世代TKIの前方視的なランダム化比較試験の準備を進めている。

## 特色等

さまざまな臓器に発生するがんの診療に横断的にかかわる病理診断、がん薬物療法、放射線治療の各専門医を育成するために、これら3分野ごとに県内の医師・検査技師の間で構築されたネットワークを活用して、病院間の垣根を超えた全県的な研修プログラムに参加することができる。大学病院に限らず大学以外の県内施設に勤務しながら専門医育成システムに参加できる特色を有している。

## 本学の理念との関係

本学の理念に沿って、がん診療における高度な医学知識を修得するとともに、患者および医療チームのなかで信頼し得る医療人を育成する。同時に福井県でのがん地域医療の向上に寄与することを目的としている。

## 3. 研究実績

| 区分     |                | 編数     | インパクトファクター（うち原著のみ） |
|--------|----------------|--------|--------------------|
|        |                | 2016年分 | 2016年分             |
| 和文原著論文 | ファーストオーサー      | 0      | —                  |
|        | コレスポンディング・オーサー | 0      | 0 (0)              |
| 英文論文   | コレスポンディング・オーサー | 0      | 0 (0)              |
|        | その他            | 5      | 4.101 (4.101)      |
| 合計     |                | 5      | 4.101 (4.101)      |

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

16104001

T. Yoshikawa, A. Tanizawa, K. Suzuki, K. Ikeda, E. Nomura, Y. Maeda, N. Tanaka, K. Yamada, Y. Sakai, Y. Imamura, Y. Ohshima: High-risk neuroblastoma with metastases to bilateral kidneys at diagnosis, Case Reports in Pediatrics, 2017, Article ID 5375091, 201703 (症例報告)

16104002

K. Horibe, K. Yumura-Yagi, T. Kudoh, S. Nishimura, M. Oda, M. Yoshida, Y. Komada, J. Hara, A. Tawa, I. Usami, A. Tanizawa, K. Kato, R. Kobayashi, K. Matsuo, H. Hori: Long-term results of the risk-adapted treatment for childhood B-cell acute lymphoblastic leukemia: report from the Japan association of childhood leukemia study ALL-97 trial., J Pediatr Hematol Oncol., 39(2), 81-89, 201703, DOI: 10.1097/MPH.0000000000000760., #1.146

16104003

T. Yoshikawa, A. Tanizawa, K. Suzuki, N. Tanaka, T. Hayashi, M. Tsuda, G. Ohta, N. Kikuchi, H. Okamoto, T. Sakai, Y. Taniguchi, Y. Ohshima: The Usefulness of T1-Weighted Magnetic Resonance Images for Diagnosis of Acute Leukemia Manifesting Musculoskeletal Symptoms prior to Appearance of Peripheral Blood Abnormalities., Case reports in pediatrics, 2016, 201610, DOI: 10.1155/2016/2802596 (症例報告)

16104004

M. Yasutomi, Okazaki S, Hata I, Tanizawa A, Tamamura S, Kawakita M, Ohshima Y: Cytokine profiles in mycoplasma pneumonia-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis, J Microbiol Immunol Infect, 49, 813-816, 201610, DOI: 10.1016/j.jmii.2014.11.015 (症例報告), #2.955

16104005

M. Morikawa, T. Nakazawa, S. Kato, D. Fujimoto, K. Koneri, M. Murakami, Y. Hirono, H. Maeda, T. Goi, K. Katayama, Y. Imamura, A. Tanizawa, A. Yamaguchi: Acinar cell carcinoma of the pancreas in childhood, Int Canc Conf J, 5(3), 140-145, 201607, DOI: 10.1007/s13691-016-0245-y (症例報告)

## b. 原著論文（審査無）

## c. 原著論文（総説）

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (4) 和文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

## b. 原著論文（審査無）

## c. 総説

16104006

谷澤 昭彦: 慢性骨髄性白血病CML, 小児内科, 48, 938-942, 201611

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (B) 学会発表等

## (1) 国際学会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (2) 国内学会（全国レベル）

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

## 16104007

K. Sakamoto, T. Imamura, M. Yano, D. Asai, T. Deguchi, Y. Hashii, A. Tanizawa, Y. Ohshima, N. Kiyokawa, K. Horibe, A. Sato: A novel PAX5-KIDNS220 fusion transcript identified in Ph-like acute lymphoblastic leukemia, 第78回日本血液学会学術集会, 横浜市, 20161013, 臨床血液, 57(9), 1510, 2016

## 16104008

H. Shima, A. Tanizawa, H. Kurosawa, A. Watanabe, M. Ito, C. Tono, Y. Yuza, H. Muramatsu, H. Goto, Y. Nakazawa, C. Imai, H. Shimada: Impact of pubertal status on growth impairment in CML children treated with TKI: JPLSG CML-08 study, 第78回日本血液学会学術集会, 横浜市, 20161015, 臨床血液, 57(9), 1510, 2016

## 16104009

嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、嶋 晴子、湯坐 有希、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦: 小児慢性期慢性骨髄性白血病（CML）に対する多施設共同観察研究CML-08：平成28年度予備解析, 第58回日本小児血液・がん学会学術集会, 東京都, 20161215, 日本小児血液・がん学会雑誌, 53(4), 234, 2016

## 16104010

湯坐 有希、嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、嶋 晴子、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、梶原 良介、後藤 裕明、今井 千速、谷澤 昭彦: JPLSG CML-08 予備解析報告 2016：急性有害事象について, 第58回日本小児血液・がん学会学術集会, 東京都, 20161215, 日本小児血液・がん学会雑誌, 53(4), 234, 2016

## 16104011

嶋 晴子、嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、遠野 千佳子、湯坐 有希、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦: 小児慢性期CML患者の診断前成長障害（JPLSG CML-08研究）, 第58回日本小児血液・がん学会学術集会, 東京都, 20161215, 日本小児血液・がん学会雑誌, 53(4), 234, 2016

## 16104012

吉川 利英、池田 和美、野村 詠史、前田 夢吉、田中 奈々絵、山田 健太、鈴木 孝二、谷澤 昭彦、酒井 康弘、今村 好章、大嶋 勇成: 両側腎に多発転移を認めた神経芽腫の男児例, 第58回日本小児血液・がん学会学術集会, 東京都, 20161215, 日本小児血液・がん学会雑誌, 53(4), 237, 2016

## 16104013

鈴木 孝二、安富 素子、吉川 利英、前田 夢吉、渡邊 一寿、津田 雅世、巨田 元礼、森岡 茂巳、金兼 弘和、星野 顕宏、高木 正稔、谷澤 昭彦、大嶋 勇成: 自己免疫性リンパ増殖症候群が疑われSTAT3機能獲得変異の診断に至った一例, 第58回日本小児血液・がん学会学術集会, 東京都, 20161215, 日本小児血液・がん学会雑誌, 53(4), 238, 2016

## d. 一般講演（ポスター）

## 16104014

遠野 千佳子、嶋田 博之、黒澤 秀光、渡辺 輝浩、伊藤 正樹、嶋 晴子、湯坐 有希、村松 秀城、堀田 紀子、岡田 雅彦、谷澤 昭彦: 小児慢性骨髄性白血病（CML）に対する多施設共同観察研究CML-08：チロシンキナーゼインヒビター（TKI）時代における同種造血幹細胞移植症例予備解析, 第39回日本造血細胞移植学会総会, 松江市, 20170303

## 16104015

岡田 直樹、土岐 真、厚川 太、高橋 貞佳、河野 美幸、黒瀬 望、湊 宏、野島 孝之、鈴木 孝二、谷澤 昭彦: 初回治療中に肝と腎筋への遠隔転移を認めたMYCN非増幅新生児神経芽腫の一例, 第58回日本小児血液・がん学会学術集会, 東京都, 20161217, 日本小児血液・がん学会雑誌, 53(4), 383, 2016

## e. 一般講演

## f. その他

## (3) 国内学会（地方レベル）

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

## 16104016

池田 和美、湯浅 光織、巨田 元礼、渡邊 一寿、林 泰平、鈴木 孝二、大嶋 勇成、谷澤 昭彦、村上 真、酒井 康弘、今村 好章: 小児造血器悪性腫瘍の治療中に急性虫垂炎を発症した3例, 第319回小児科学会北陸地方会, 富山市, 20170312

## 16104017

清水 達人、伊藤 尚弘、鈴木 孝二、野村 詠史、津田 雅世、林 泰平、吉川 利英、大嶋 勇成、谷澤 昭彦、小上 瑛也、今村 好章、林 麻紗巳、小坂 拓也: 発熱、頭痛、痙攣、外転神経麻痺を初発症状とした未分化大細胞型リンパ腫の一例, 第317回日本小児科学会北陸地方会, 吉田郡永平寺町, 20160612

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (4) その他の研究会・集会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

## 16104018

野村 詠史、山田 健太、清水 達人、池田 和美、鈴木 孝二、吉川 利英、大嶋 勇成、今村 好章、酒井 康弘、谷澤 昭彦: 肝原発 malignant vascular tumor, 第44回北陸小児がん研究講演会, 金沢市, 20160917

## 16104019

野村 詠史、山田 健太、池田 和美、鈴木 孝二、吉川 利英、今村 好章、酒井 康弘、谷澤 昭彦、大嶋 勇成: 肝原発 malignant vascular tumor、今後の治療に関する検討, 第11回 京都地区小児血液腫瘍研究会, 京都市, 20160723

## 16104020

鈴木 孝二、吉川 利英、伊藤 尚弘、前田 夢吉、大嶋 勇成、谷澤 昭彦、赤澤 愛弓、北井 隆平、法木 左近、今村 好章、小林 英里子、岩井 和之: melanotic neuroectodermal tumor of infancy (MNTI) 切除不能例に対する化学療法の経験, 第45回北陸小児癌講演会, 金沢市, 20170218

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (C) 特許等

| 区分 | 内容（発明の名称） | 発明者又は考案者 |
|----|-----------|----------|
|----|-----------|----------|

## (D) その他業績

## 4. グラント取得

## (A) 科研費・研究助成金等

| 区分 | プロジェクト名 | 研究課題名 | 代表者名 | 分担者名 | 期間（年度） | 金額（配分額） |
|----|---------|-------|------|------|--------|---------|
|----|---------|-------|------|------|--------|---------|

| 区分 | 研究種目 | 課題名 | 代表者名 | 分担者名 | 期間（年度） | 金額（配分額） |
|----|------|-----|------|------|--------|---------|
|----|------|-----|------|------|--------|---------|

## (B) 養学寄附金

|      |          |
|------|----------|
| 受入件数 | 2        |
| 受入金額 | 19483371 |

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

| 区分       | 主催・共催の別 | 学会名               | 開催日               | 開催地 |
|----------|---------|-------------------|-------------------|-----|
| その他の研究集会 | 主催者     | CCLSG JACLS合同セミナー | 20160702-20160703 | 加賀市 |

## (B) 学会の委嘱

| 学会の名称       | 役職   | 氏名    |
|-------------|------|-------|
| 日本感染症学会     | 一般会員 | 谷澤 昭彦 |
| 日本臨床腫瘍学会    | 一般会員 | 谷澤 昭彦 |
| 日本造血細胞移植学会  | 一般会員 | 谷澤 昭彦 |
| 日本小児血液・がん学会 | 一般会員 | 谷澤 昭彦 |

## (C) 座長

| 国内学会     | 学会名                 | 氏名    |
|----------|---------------------|-------|
| 一般講演（口演） | 第58回日本小児血液・がん学会学術集会 | 谷澤 昭彦 |

## (D) 学術雑誌等の編集

| 学術雑誌等の名称                 | 委員長（主査）・委員 | 氏名    |
|--------------------------|------------|-------|
| Pediatrics International | 査読         | 谷澤 昭彦 |

## (E) その他